

# 豚舎通信 2024

中央農業高校の豚舎情報をお知らせいたします。

## 第2号「母豚と子豚」

本校の畜舎(牛舎・豚舎・鶏舎)は令和3年度に実施された大規模改修工事により  
各畜舎が新しくリニューアルされました。  
(改修工事なので建て替えではなくリフォームです。)

この機会に、豚舎の設計を見直し、近年、畜産業界でも少しずつ取り入れられている  
アニマルウェルフェア(動物福祉)に対応できる豚房へ改良されました。  
その一部がこの写真の「分娩豚房」です。



これまでの構造とどこが改良されたのか分かりますでしょうか？

正解は、広さ(行動スペース)です！

限られたスペースではありますが、母豚がからだの向きを自由に変えられたり、好きな場所で寝ることができます。

通常、養豚業において母豚はストールとよばれる構造の豚房で飼育されます。  
分娩時にも分娩専用のストールで過ごします。

これは、生まれてきた子豚が母豚により潰されてしまう事故「圧死」を防ぐ目的と国内の限られた敷地で豚肉を生産し消費者へ供給していかなければならぬためです。

この飼養形態についてはそれぞれ多くのご意見がありますが、本校では母豚と子豚ができる限りストレスなく過ごしてほしいという考えによりこれまでの飼養スタイルから大きく変更(リニューアル)しました。

どちらの飼養形態にしてもそれぞれのメリットや改良点がありますが、これからの畜産を学ぶ生徒たちには様々な角度から物事を捉え、自ら畜産に対する考えを見出して欲しいと思います。



以上、第2回目の「豚舎通信」でした。次回もお楽しみに👉